

項目	評価
1. 園の教育理念・教育方針	
①子どもの人権に十分配慮するとともに互いに尊重する心を育てる	A
②児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を尊重する園の方針を明文化している	A
2. 子どもの発達援助	
①子どもが健康に生活する場となっている	A
②子どもが自己決定権を持ち、自己活動できる環境の確保をしている	A
③子どもの発達の順序性や連続性を踏まえ、長期的な視野で計画・実践・記録を行っている	A
④1年間の子どもの成長を振り返り、保育課程を評価している	A
⑤園の保育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性を考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	A
⑥保育所全体で子ども観、発達観を共有する場を持ち確認しながら取り組んでいる	A
⑦保育における養護と教育の一体化がなされている	A
3. 保護者支援	
①子どもの成長の喜びを共有するために保育内容等の説明や応答責任を果たしている	A
②虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な行動及び対応に心掛けている	A
4. 地域における子育て支援	
①地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスの提供をしている	B
②行政や専門機関と連携し、地域性に応じた子育て支援をしている	B
5. 保育を支える組織的基盤	
①配慮を必要とする子どもの対応について環境及び保育内容の整備が明確になされている	A
②異年齢の子どもが自然に交流できるような環境構成となっている	A
③「食を営む力」の育成に向け、その基盤を担っている	A
④施設内外の安全、衛生管理の維持向上に努めている	A
⑤職員は自ら実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている	B
⑥保育所全体の内容についてPDCAサイクルを利用し、自己評価を行っている	A
⑦研修に対して基本姿勢が示され、研修体制が整備されている	B
6. 保育を支える組織的基盤	
①保育の実践と運営上の根拠となる基本的な法令を理解し、遵守している	A
②苦情解決制度の仕組みが確立され、保護者に周知されると共に機能している	A
③個人情報の取扱いはガイドラインに基づいて実施されている	A
④経営層は役割と責任を理解し質の向上に意欲を持ち指導力を発揮している	A